

|   |  |     |     |               |     |                |  |
|---|--|-----|-----|---------------|-----|----------------|--|
| 〔科目名〕<br>経済演習 I   |  |     |     | 〔単位数〕<br>2 単位 |     | 〔科目区分〕<br>演習科目 |  |
| 〔担当者〕<br>山本 俊   |  |     |     |               |     | 〔授業の方法〕<br>演習  |  |
| 〔演習テーマ〕<br>私たちの暮らしと金融   |  |     |     |               |     |                |  |
| 〔演習内容〕<br>・私たちの暮らしと密接にかかわる金融の考え方や分析方法を確認し、PC を用いて実践する。<br>・私たちに身近な地域金融機関のパフォーマンスや地域産業における経済波及効果を、PC を用いて計測する。   |  |     |     |               |     |                |  |
| 〔科目の到達目標〕<br>・金融リテラシー(金融に関する知識や判断力)と「私たちの暮らし」との関連について説明できるようになること。<br>・実践した分析方法を自らが設定した問題にも応用できるようになること。  |  |     |     |               |     |                |  |
| 〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕  |  |     |     |               |     |                |  |
| 学 部   |  |     |     | 学 科           |     |                |  |
| DP1   | DP2  | DP3 | DP4 | DP1           | DP2 | DP3            |  |
|   |  |     | ○   | ○             |     | ○              |  |
| 〔前提条件〕 特になし。<br>ただし、不足する知識や技能があれば(演習内でも補足はするものの)積極的に補う姿勢があること。  |  |     |     |               |     |                |  |
| 〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)<br>①中間課題(小テストまたはレポート):30%<br>②最終課題(レポートまたはプレゼン):70% をもとに評価します。評価のポイントは以下のようです。<br>・学修したことを正しく理解し、活用できるか。<br>・学修したことを適切な問題に応用できるか。<br>・レポートやプレゼンは標準的な要件を満たしているか。  |  |     |     |               |     |                |  |
| 〔教科書等〕 特に使用はしません。<br>演習と密接な参考書を示しますので、学修の参考としてください。<br><2 回目ー7 回目><br>・今喜典編著『ポストコロナ期にむかう青森県の産業』蒼天社出版、2023 年(4 章)<br>・ツヴィ・ボディ、ロバート・C・マートン『現代ファイナンス論』(原著第 2 版)ピアソン桐原、2011 年(5、6 章)<br><8 回目ー11 回目><br>・金融仲介の改善に向けた検討会議(金融庁)「地域金融の課題と競争の在り方」、2018 年(WEB 検索可)<br><12 回目ー15 回目><br>・今喜典編著『ポストコロナ期にむかう青森県の産業』蒼天社出版、2023 年(第 2 章)<br>・白砂堤津耶『例題で学ぶ初歩からの計量経済学 第 2 版』日本評論社、2007 年(9 章)<br>※その他の参考書については演習内で適宜指示します。 |  |     |     |               |     |                |  |
| 〔実務経歴〕 特になし。  |  |     |     |               |     |                |  |
| 授 業 ス ケ ジ ュ ー ル   |  |     |     |               |     |                |  |
| 時期  | テーマと内容   |     |     |               |     |                |  |
| 1 回目  | ガイダンス<br>受講者が経済演習 I の到達目標を無理なく達成できるよう、必要となる知識(入門的な数学、統計学、経済学)や技能(PC)について確認します。その状況に応じて、演習内でも適宜補足します。 |     |     |               |     |                |  |

|                            |   |
|----------------------------|---|
| <p>2回目<br/>～<br/>4回目</p>   | <p>ライフサイクル・フィナンシャル・プランニング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金融リテラシー(金融に関する知識や判断力)を身に着ければ、私たちの暮らしがどのように変化するのか、ICT は私たちの資産運用にどんな影響を与えるのか、ということ「金融リテラシー調査」などを用いて考えてみます。また、青森県民の金融リテラシーについても見てみましょう。</li> <li>・住宅を借りるのか買うのか、大学院へ進学すべきかどうか、ということについても考えてみます。</li> </ul>  |
| <p>5回目<br/>～<br/>7回目</p>   | <p>投資計画の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の収益が定まっているとみなし得る投資の評価方法を考えてみましょう。</li> <li>・特に、IRRという評価方法はPCが無ければ計算は難しいので、ここでは、エクセルの Solver を用いてIRRを求めてみます。</li> <li>・実際に、資金調達方法を検討したうえで、青森県で販売されている「一棟売りの中古アパート」への投資を評価してみましょう。</li> </ul>  |
| <p>8回目<br/>～<br/>11回目</p>  | <p>地域金融機関の役割と営業地盤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県では、独占禁止法の特例法を初めて適用した銀行間合併によって「青森みちのく銀行」が誕生しました。では、そもそも両行はどうして合併に踏み切ったのでしょうか。地域金融機関の役割と経営環境の変化とについて考えてみましょう。</li> <li>・地域金融機関のパフォーマンスを、フロンティア分析によって計測し、地域金融機関の規模や営業地盤における経済水準との関係を分析しましょう。ここでは、エクセルの Solver と VBA を用います。</li> </ul>   |
| <p>12回目<br/>～<br/>15回目</p> | <p>青森県産業における経済波及効果と「まとめ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県庁の WEB ページでは、(2025年6月1日時点で)平成27年青森県産業連関表が公開されており、そこには青森県の産業間の取引や産業ごとの生産構造が示されています。ここから、青森県の産業の特徴を考えてみましょう。これは地域金融の在り方を考える上でも大切です。</li> <li>・特に、ここでは、青森県が公開している「産業連関分析ファイル(40部門)」を107部門版へとバージョンアップさせ、自らが考える特定のイベントが生み出す経済波及効果について分析してみましょう。</li> <li>・これまでの演習の振り返り。</li> </ul> |